

## 第2回臨時会

(会期：平成30年11月19日)

# 議決した案件

- 予算案… 1件
- その他… 1件
- (●全会一致可決… 2件)

Pick Up

平成30年7月豪雨災害関連の  
予算を可決

平成30年7月豪雨災害への対応のため、土砂、災害廃棄物の撤去等  
や被災した農業用施設等の復旧などに対する関連予算を全会一致で可  
決しました。

### 予算に関する議案

#### ◎可決した補正予算案

平成30年度東広島市一般会計補正予算（第6号）

#### 主な内容

- ・ 民有地内の土砂や災害廃棄物の撤去、運搬及び処分に要する経費の追加（13億6,620万2千円）
- ・ 被災した農業経営者に対する、農産物の生産・加工に必要な施設等の復旧等に対する補助金の増額（1億1,700万円）
- ・ 住民自治協議会が行った被災者支援や応急復旧などに対する活動交付金の追加（800万円）
- ・ 民有地内の土砂や災害廃棄物の撤去、運搬及び処分の一部の年度内完了が困難なため、繰越明許費を新たに計上（5億3,400万円）
- ・ 地方債の「災害廃棄物処理事業」について、既定の限度額を増額（6億2,370万円）

### 歳入歳出額

補正前	補正額	補正後
856億8,219万8千円	14億9,120万2千円	871億7,340万円



# 委員会審査概要

## 総務委員会

●議案第204号(平成30年度東広島市一般会計補正予算(第6号))

**Q** 民有地土砂撤去の補助金及び交付金の積算根拠については、どうなっているのか。

**A** 現在、申請数は15件であるが、り災証明の発行もまだ行われていることから、60件ほど多めに見込んでいます。



**Q** 自主防災組織の経費負担について、何団体を想定しているのか。

**A** 市内47自治協議会がある中で、四十数か所で自主活動をされているものと想定している。

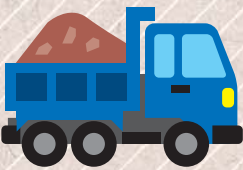
**Q** 自主防災組織の経費負担は、どのような活動を支援するものか。

**A** 地域が主体となった、救助活動や孤立集落等への対応、あるいは発災後、地域のボランティアの方々による土砂撤去活動等が行われている。これに対して、地域の方が作業する中での飲料水、また各地域の呼びかけに係る経費。また発災後の道路・河川の土砂撤去活動などに対して補助をさせていただきます。

**Q** 補正する委託料について、予定される委託先はどこか。

**A** 二次仮置き場への土砂の運搬費や、分別等の作業に係る委託については、過去の災害、東日本大震災等の大きな災害での実績等を踏まえ、ゼネコンを委託先として想定している。

撤去量の増加に伴うものや、産業廃棄物運搬処分費に係る委託については、それぞれ地域各町単位で、主に土木建設業者の方にお問い合わせいただいている。

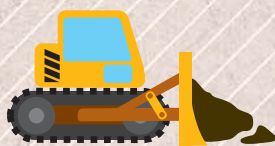


## 建設委員会

●議案第203号(西条中央巡回線に関する請負契約の変更について)

**Q** 変更契約により、工期の変更はあるか。

**A** 工期に変更はない。



**Q** 事前の地盤調査の基準はどのようにしているか。

**A** 調査位置の選定は、大きな主要構造物の位置を考慮して決定し、その地質に基づき工法を選定している。